

『すぐすむ我が家』の特長

浸水被害で使えなくなってしまうものは…?

住設
キッチン・浴室・洗面・トイレ

家具・カーテン

電気
コンセント・IH・食洗・家電

造作材
玄関収納・室内ドア・上板・巾木

床
フロア・タタミ・下地

壁
断熱材・石膏ボード・クロス・間仕切

階段



事前にできる水害対策があります！

床下だけの浸水でも消毒、乾燥、水没機器の交換などが必要ですが、床上まで浸水するとさらに被害範囲は広がり、日常生活の回復に時間がかかります。当社の水害対策は万一床上まで浸水しても被害を抑えられ、早期復旧しやすい工夫をご提案します。

床上浸水対策

床上浸水しても被害を最小限にする工夫

被害の程度、復旧の範囲を抑える



再利用などで早期復旧できる

床下浸水対策

床下や敷地に浸水させない工夫



早期の復旧に備える水害対策リフォーム

『すぐすむ我が家』

長引く台風や線状降水帯の発生など、豪雨による災害が急増。通常リフォームに加えて、浸水被害に備える対策を“プラス”。

通常リフォーム

住まいの耐震性を高める
耐震リフォーム



最新設備への交換で暮らしやすさアップ
住宅設備リフォーム



壁や窓の断熱化で快適温度を保つ
断熱リフォーム



建物を長持ちさせて美観を保つ
外装リフォーム



太陽光発電やエコキュートを導入する
オール電化リフォーム



住まいの美しさと防犯性を高める
エクステリアリフォーム

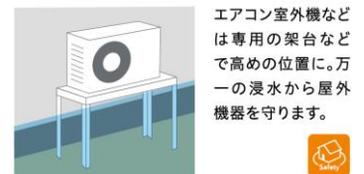


水害対策（例）

基礎部分に圧力開放蓋を設置



屋外設備機器を守る



床下換気口からの浸水を防止



ついでに水害対策リフォーム提案例

『耐震』『断熱』『住宅設備』などの通常行うリフォーム内容に合わせて、ついでに行うことでお得になる水害対策工事をご提案します。



住まいの耐震性を高める
耐震リフォーム



壁を改修するついでに…

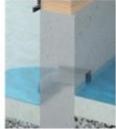
コンセントの位置を高くする



住宅のコンセントが浸水して漏電した場合には、その住宅で電力が使えなくなることがあります。高い位置に取り付けることで停電のリスクを回避できます。

基礎の補強のついでに…

床下に「水抜き孔」を設置



床下が浸水しても速やかに排水できる対策を。床下の悪臭やカビの発生、湿気による建物の劣化も防ぎます。(基礎の配筋により設置できないケースがあります)

快適

さらに嬉しい
普段の暮らしも快適

コンセントの位置を高くする

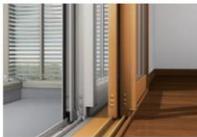
しゃがむ動作が大変な高齢者にとって、高い位置にコンセントがあると、かがむ必要がなくなりますので、実は負担が少なく最適です。

壁仕上げの下半分を分離する
子どもの落書きや、猫の爪とぎや、ワンちゃんに汚された場合でも半分の交換で済みます。傷に強い仕上げにするのも方法です。

さらに



壁や窓の断熱化で快適温度を保つ
断熱リフォーム



壁を改修するついでに…

吸水しにくい素材の断熱材に変更



発泡プラスチック系断熱材なら、水に濡れても再利用しやすい。

壁を改修するついでに…

断熱材と石膏ボードを分割



断熱材を分割して施工すれば、全体を交換せず、浸水部分の交換のみで済むので、費用を抑えられます。



太陽光発電やエコキュートを導入する
オール電化リフォーム



機器設置のついでに…

機器設置場所を嵩上げ



エコキュートの屋外設備は、専用台やコンクリート打設で浸水の想定以上の高さに設置。

ブレーカー交換のついでに…

1階2階のブレーカー回路を分ける



万一の床上浸水でも1階がショートしても、2階の停電を防ぎます。



住まいの美しさと防犯性を高める
エクステリアリフォーム



門扉や目隠し柵を設置するなら…

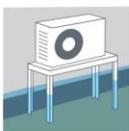
クローズド外構や止水板を設置



防水性の壁や止水板で住まいを囲み、敷地内への浸水を防止します。

外構のリフォームをするなら…

屋外設備機器を守る



エアコン室外機などは専用の架台などで高めの位置に。万一の浸水から屋外機器を守ります。



住宅設備
リフォーム



外装
リフォーム

間取りも含めた提案例

間取りのリフォームでも水害対策が出来ます。垂直避難を想定し、メインの居住スペースを2階にしたり、平屋の場合は小屋裏収納とトップライトを設置するご提案もします。

在宅避難ができる2階を**メインの居住スペース**に



間取りを含めたフルリノベーションをされるなら、メインとなるLDKや水まわりなどの居住空間を2階に変更することで、高額な設備機器の浸水被害防止と基本的な生活の確保ができます。



平屋でリフォームするなら**トップライト(天窗)**を設置

浸水リスクが大きい平屋の場合は、トップライト(天窗)を設けておくと天井から屋根への避難経路を確保できます。短時間の豪雨災害では玄関や窓からの避難が難しいことも多いため、万一の事態に備えることが重要です。



屋根裏に通じるハシゴ



小屋裏収納の設置
普段の生活はそのままに収納場所を増やすことができます。浸水しにくいので、防災グッズの収納としても最適です。

快適

さらに嬉しい
普段の暮らしも快適

2階の居住スペース

普段家族が集まるリビングが明るく快適な空間へと変わります。

小屋裏収納の設置

普段の生活はそのままに収納場所を増やすことができます。浸水しにくいので、防災グッズの収納としても最適。

さらに

(参考)

近年の線状降水帯の発生による非常に激しい雨の増加や台風の大型化等による浸水被害が頻発。このまま温暖化が進めば降雨量は約1.1倍になり、洪水発生頻度は約2倍になることも予想されるため、想定浸水区域・ハザードマップの見直しが行われ、これまで浸水区域ではない地域も区域内に。特に浸水被害の大半を占める内水氾濫による被害の増加が懸念されています。

住宅の浸水被害件数

浸水被害件数は増加しており、床上浸水対策が欠かせません。



国土交通省「水害被害統計調査」より

発生頻度は高まる一方

いつ起きてもおかしくない事態に備えて対策することが大切です。



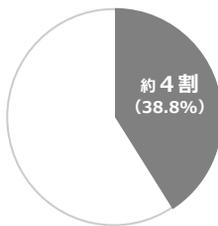
気候変動に伴う降雨量や洪水発生頻度の変化

気候変動シナリオ	降雨量	流量	洪水発生頻度
2℃上昇時	約1.1倍	約1.2倍	約2倍
4℃上昇時	約1.3倍	約1.4倍	約4倍

国土交通省R5年「地下空間を活用した治水対策」より

浸水区域内に住まないは不可能

人口集中地区の約4割は浸水地域
水害と共に生きる心構えが大切です。



人口集中地区に占める
浸水想定地域の割合

国立研究開発法人 建築研究所
「第18回専門紙記者懇談会開催 資料(2020年)」より

浸水想定エリアは最新のもので確認することが大切

住まいは長く住むもの。水害対策も一過性のものでなく長きに渡って安心できるものを選択することが大切。特に内水氾濫による事前の防災対策が重要。



国土交通省「重ねるハザードマップ」より

※本商品はすべての河川氾濫に対して当社がお客様の生命・財産を保証するものではありません。緊急時の避難誘導がある場合は、その指示に従って行動してください。